



～ 第 19 回総会終了しました ～

イラスト／田島薫

6月20日、中央公民館体育室で、第19回の定例総会を開催しました。昨年は出席者をギリギリに絞り、グループリビングえんの森リビングルームで開きましたから、2年ぶりの中央公民館です。例年に比べれば少ない参加者ですが、最小限に絞った昨年度に比べればにぎやかな総会になりました。

今回の議案書は96ページ、昨年より8ページ増えました。各事業がこの未曾有の1年間をどのように対策をして過ごしたか、利用者さん、スタッフの思いを含めてしっかり記録した結果です。会場の都合もあり、いつもより30分短い時間で終了しなければならなかったのが残念でした。

◆2020年度報告◆

まず、決算は4年ぶりの赤字になり、約174万円のマイナスでしたが、デイホームえんと多機能ホームまどかが感染防止のために1日の利用者数を絞らなければならなかったことが大きく、コロナ禍の影響だったことが確実です。またケアプランえんは、要介護認定を受けケアマネジャーを決めてプランを立ててもサービス利用を見合わせる方が例年になく多く、報酬につながりませんでした。感染拡大の中ヘルパーが来ることやデイサービスなどに行くことをためらったのでしょうか、サービス利用が必要な方々ですから、その後どうされているのか心配です。一方えんの食卓は前年度末から利用者が一気に増え、前年比25%の増、買い物に行くのも不安な中で一食のお弁当が生活の支えになったようです。

また多くの方からご寄付を頂きました。この収入があったおかげで年度内に法人負担のPCR検査を行うことができました。また赤字幅を少なくすることができました。あらためて御礼申し上げます。

いろいろあった1年でしたが、えんのスタッフに一人も感染者が出なかったことが最大の成果でした。

◆2021年度計画◆

いまだにコロナ禍中ですが、2021年度の計画もけっこう盛だくさんです。

まず、20年度にスタートした基幹相談支援のための事務所新築。実はこれを書いている時点で着工していたはずが世界的なウッドショックとやらで、建築資材が高騰し見積直しに入っています。いずれにしろ年度内には完成予定です。えんはどちらかというと、高齢者介護で知られていますが、障がい者支援はボランティア時代から始めています。新座市から委託された『基幹相談支援センターえん』は新座市の障がい者支援の中核に位置付けられるセンターです。お披露目も兼ねたイベントを行い、皆さんにも知っていただきたいのですが、この状況で見合わせています。

また、認知症カフェ、誰でも食堂、みんなのコンサートなど、どれもが「収束後」に再開する予定ですが、2020年度スタート予定でいまだに始められないのが「若年認知症カフェ」。すでに法人内では始めていましたが、昨年からは新座市の認知症支援事業として開始の予定でした。

さまざまなことが、「コロナが終わったら」になりますが、その日が来たら早速活